

瀬戸内市長船スポーツ公園体育館

長寿命化計画

(個別施設計画)

令和6年4月

瀬戸内市

－ 目 次 －

1	計画の背景と目的	1
2	計画の位置付け	1
3	計画期間	2
4	使用目標年数の設定	2
5	計画の対象施設の概要及び状態	3
6	対策の優先順位の考え方	4
7	対策の内容・実施時期・費用	4

1 計画の背景と目的

国及び地方公共団体等が所有する施設は、老朽化に伴い今後大量に更新時期を迎える一方、厳しい財政状況や人口減少等により施設の利用需要も変化しており、全国的に大きな課題となっています。この対策として、国では、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、地方公共団体に対して「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請を行いました。

瀬戸内市では、公共施設、特に建物の老朽化問題を先行して取り上げ、「公共施設再編方針」を平成 26 年 7 月に策定し、この方針をもとに具体的な施設のあり方についてまとめた「公共施設再編計画」を平成 27 年 9 月に策定し、公共施設の総量縮減や適切な長寿命化などを進めることとしてきました。また、公共施設再編方針でまとめた建物に加え、道路、橋りょう、上下水道管といったインフラ施設を含めた公共施設等の総合的、長期的な管理に関する行動計画として、「瀬戸内市公共施設等総合管理計画」を平成 30 年 8 月に策定し、公共施設及びインフラ施設の適正管理に関する基本方針等を定めています。

本計画は、これらの基本方針等に基づき、瀬戸内市長船スポーツ公園体育館の個別施設計画として、計画的な予防保全と適切な長寿命化などを推進することを目的として策定するものです。

2 計画の位置付け

本計画は、「瀬戸内市公共施設等総合管理計画」及び「公共施設再編計画」に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として示されている「個別施設計画（個別施設の長寿命化計画等）」に位置付けるものです。

3 計画期間

計画期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間とします。なお、施設の状態や財政状況などを勘案し、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととします。

4 使用目標年数の設定

(一社)日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」における耐用年数の範囲(目標耐用年数)を参考として、目標とする使用年数は65年(目標耐用年数の平均値)を標準とし、今後も安全に資産として活かしきることを念頭に、損傷が軽微な段階で予防的な修繕を行うとともに計画的な大規模改修を図ります。これは、減価償却資産の耐用年数等に関する省令における法定耐用年数(鉄筋コンクリート造(体育館)47年)を超えて延伸させるものです。さらに、躯体等の健全性が確保できることを前提として、80年(目標耐用年数の上限値)までの使用に向けた検討を行います。

5 計画の対象施設の概要及び状態

本計画の対象施設は、長船スポーツ公園体育館とします。

長船スポーツ公園は、スポーツ・レクリエーションを広く普及し、豊かな人間形成と体力向上に資するための活動場所として設置しています。そして、この施設は、テニスコート、多目的広場、体育館を備え、旧長船町地域のスポーツ活動の拠点としての役割を担う施設となっています。

その中でも、体育館は様々な屋内でのスポーツ・レクリエーション活動が行われ、多くの市民の体力向上や心身の健康維持に寄与しています。

○施設の概要及び状態

施 設 概 要									
建築年度	経過年数	構造種別	法定耐用年数	使用目標年数	延床面積(m ²)	耐震性	地上(階)	年間利用人数	
S59	40	RC	47	65	1,339	有	2	延べ 約 26,300 人	
施 設 の 状 態									
屋上・屋根	外壁	内装・建具	電気設備	給水設備	排水設備	空調設備	昇降機設備	消防設備	防火設備
C	C	C	B	C	C	B	—	A	A

※評価の基準

評価	基 準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上・機能上：問題なし）
C	早急に対応が必要（安全上・機能上：問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

6 対策の優先順位の考え方

長船スポーツ公園は、市民がいきいきと暮らすために、スポーツ・レクリエーションを楽しみながら健康づくりや体力づくりを行う施設として重要な役割を担っています。また、災害時の避難所にも指定されており、災害時には市民が安全に避難し、一時的に生活を送るための場所としての機能も求められています。

そのような役割を担う本施設の管理については、日常的な点検や定期点検などにより、劣化した箇所や設備が見つかった段階で修繕や改善を行ってきました。しかし、修繕コストの縮減や施設寿命の延命、安心・安全な施設利用の観点から、今後は計画的にメンテナンスを行い管理するものとします。

そして、対策の優先順位については、施設の役割、機能、利用状況等を考慮し、施設の安全性の確保を最優先として対策を講じながら、「4 使用目標年数の設定」の方針に基づく使用年数の期間を使用していくこととします。

具体的には、まずは、屋根や床材の損傷、建物の構造に関わる老朽化対策に取り組みます。そして、使用頻度の高い部分から故障やトラブルが発生する前に計画的に更新していきます。合わせて日常的な点検や定期点検などでも確認を行い、リスクマネジメントに努めることとします。

7 対策の内容・実施時期・費用

対策の優先順位の考え方を踏まえ、長船スポーツ公園体育館における対策の内容、実施時期、費用を次のとおり示します。対策費用は、予算化を行っているものは予算額、その他は中期財政計画に計上した概算額を示しています。

(単位：百万円)

対策内容	年度	R6	R7	R8	R9	R10
ロビー部等の屋根の改修	工事・監理					
	18.1					
アリーナ部の外壁・屋根等の改修	調査・設計			工事・監理		
	3.8		144			